



# Press release

2023年11月10日

## アクサ・ホールディングス・ジャパン LGBTQ+に関する取り組みで 「PRIDE 指標」最高位の「ゴールド」を受賞

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：安淵 聖司、以下「アクサ・ホールディングス・ジャパン」)は、2023年11月7日、LGBTQ+などのセクシュアル・マイノリティ(以下、「LGBTQ+」)への取り組みの評価指標「PRIDE 指標」<sup>※1</sup>において、最高位の「ゴールド」を受賞しました。アクサ・ホールディングス・ジャパン傘下のアクサ生命保険は4年連続、アクサ損害保険(アクサダイレクト)は6年連続、アクサダイレクト生命保険は2年連続の「ゴールド」受賞となります。

今回の受賞は、PRIDE 指標の5つの評価指標(Policy 行動宣言、Representation 当事者コミュニティ、Inspiration 啓発活動、Development 人事制度・プログラム、Engagement/Empowerment 社会貢献・渉外活動)の全てを満たし、LGBTQ+当事者が働きやすい職場づくりを目指した環境整備や、LGBTQ+や SOGI(性的志向や性自認)への理解促進を目的とした社内外での活動が評価されました。

### 【アクサ・ホールディングス・ジャパンの LGBTQ+ および SOGI に関する取り組み】

#### ■Policy 行動宣言：方針を明文化し公表

アクサ・ホールディングス・ジャパンでは「[人権に関する基本方針](#)」を定め、現在・将来の従業員に対して、年齢、人種、国籍、出身、性別、性的指向、宗教、婚姻の有無、身体的および精神的障害に基づくいかなる差別も禁止し、お客さまに対して同様の差別をしないことを従業員に求め、研修や啓発活動を実施しています。具体的な取り組みとして、「[アクサの目指すところ：LGBTQ+コミュニティと寄り添うために](#)」をウェブサイトで公開しています。なお、アクサグループでは、全世界共通の「アクサ・インクルージョン&ダイバーシティポリシー」(I&D ポリシー)を掲げ、インクルーシブな文化を醸成するためにすべての従業員が互いのアライ(理解者)になることを推奨するとともに、すべての従業員がそれぞれ果たすべき役割があると宣言しています。

#### ■Representation 当事者コミュニティ：意見や要望を発信できる社内グループ、声を集める仕組み

様々な SOGI の従業員が自分らしく働ける職場を構築することを目指して、LGBTQ+当事者とアライの従業員が共通の趣味や課題について自主的に活動を行う ERG(Employee Resource Group)<sup>※2</sup>を運営しています。活動の一例として、LGBTQ+への理解と賛同を表明するステッカーの社内配布やゲストスピーカーを招いた勉強会などを実施しています。また、アクサグループでは、インクルーシブな職場環境づくりの進捗状況を把握するためのグローバル



な調査を毎年実施し、従業員の意識に関する情報や LGBTQ+当事者を含む様々な属性の従業員の意見・要望等を定期的に収集しています。

#### ■Inspiration 啓発活動：従業員の理解を促進するための取り組み

5月17日の「国際反ホモフォビア・トランスフォビア・バイフォビアの日」<sup>※3</sup>に合わせたイベントでは、経営陣と従業員が社内 SNS 上でアライ宣言を投稿し、多様性や異なる価値観を尊重することの大切さを自ら発信するとともに、外部スピーカーをお招きして「LGBTQ+を取り巻く社会～家庭や職場で自分らしくいられるために」をテーマに講演いただきました。また、当社では多様性を象徴する社内イベント「インクルージョン・カンファレンス」を毎年開催し、属性に関係なく誰もが活躍できるカルチャーの醸成に努めています。今年は、ERG 主催によるレズビアンカップルの講演会を開催し、同性カップルの妊活に関する実態を伝えることで、多様な家族の在り方について理解を深めました。さらに、LGBTQ+を含めた人権について学ぶ研修も実施しており、アクサ・ホールディングス・ジャパンの全従業員の受講完了を目指しています。

#### ■Development 人事制度：当事者が働きやすい職場づくり

LGBTQ+当事者が働きやすい職場づくりを目指し、就業規則上の結婚の定義に同性パートナーシップを含め、育児休業や慶弔休暇などを取得できる制度を導入しています。また、通称での勤務を可能にし、採用応募フォームの性別記載を任意にするなど、性別や性的指向、性自認に関わらず、従業員が自分らしく活躍できる職場を目指しています。また、会社が提携する外部の福利厚生サービスを従業員の同性パートナーも利用できるなど、多様化する従業員の家族の形態にも対応しています。

#### ■Engagement/Empowerment 社会貢献・渉外活動：多様な社会の実現を目指す社外イベントに参加

アジア最大級の LGBTQ+関連イベントである「東京レインボープライド」には 2017 年から賛同しており、協賛企業としては 3 年連続で出展しています。今年 4 月のイベント時には、2 日間で約 660 名がアクサブースを訪れ、多様性をあたりまえに認め合う未来の実現に向けてメッセージを寄せました。また、経験豊富なフィナンシャルプランアドバイザーによるライフマネジメント<sup>®</sup>コンサルティングの体験コーナーでは、約 50 組の方がカウンセリングを体験しました。

アクサ・ホールディングス・ジャパン代表取締役社長兼 CEO の安淵 聖司は、LGBTQ+のアライとして、社外での啓発活動にも精力的に取り組んでいます。これまでの活動が認められ、英国のインクルージョン&ダイバーシティ推進団体である INvolve 社が主催する「アウトスタンディング LGBTQ+ロールモデルリスト(OUTstanding LGBTQ+Role Model Lists)」において、2020 年から 2022 年にかけて 3 年連続でトップ 10 アライエグゼクティブに選定され、2023 年にはロールモデルとして殿堂入りを果たしています。



アクサは、「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というパーパスのもと、一人ひとりが活躍できる社内文化を醸成するとともに、属性にかかわらずあたりまえに自分らしく人生を享受できる社会を目指してまいります。

※1：任意団体「work with Pride」が、企業・団体などの枠組みを超えて、LGBTQ+の方々が働きやすい職場づくりを日本で実現することを目指し、2016年6月に策定した指標。

※2：原則として経営会議メンバーがスポンサーとなり、共通の問題意識を持った従業員が自主的に集い、課題解決に向けた活動を行うグループのこと。

※3：レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、インターセックスなど、多様な性的指向、性自認、性表現を持つすべての人々の権利の侵害に対する認識を広め、関心を高めることを目的に制定された日。1990年の5月17日、世界保健機関(WHO)が同性愛を精神疾患のリストから除いたことをきっかけに制定された。

work with Pride



#### アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサのメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険（アクサダイレクト）、アクサダイレクト生命の3社を擁しています。

#### アクサグループについて

アクサは世界51の国と地域で145,000人の従業員を擁し、9,300万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2022年の売上は1,023億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは73億ユーロ、2022年12月31日時点における運用資産総額は9,324億ユーロにのびます。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、アクサの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス（DJSI）やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ（UNEP FI）による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

\*アクサグループの数値は2022年1月～12月の業績です。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

広報部

電話：03-6737-7200

FAX：03-6737-5964

<https://www.axa-holdings.co.jp/>